

連結業績の概要 2017年度第1四半期

2017年7月28日

チーフ フィナンシャル オフィサー
ジェームス・キーホー



重要な注意事項

将来見通しに関する注意事項

本資料には、見積り、予測値、目標値及び計画値等の、当社の将来の事業、財務状態及び経営成績に関する「見通し情報」が含まれています。これらの見通し情報は、「目指す」、「予測する」、「仮定する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「予想する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「見通し」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「試算」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」及びその類義語（これらに係る否定的な表現も含まれます。）等の将来予測に関する用語の使用、又は戦略、計画若しくは意図に関する議論により特定可能な場合があります。

本資料中のあらゆる見通し情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の現時点における仮定及び判断に基づいています。かかる見通し情報に関して、当社及び当社の経営陣は将来の業績に係るいかなる保証もするものではなく、また、当該見通し情報には、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要素が含まれています。そのような要素の例としては、日本、米国及び世界全体の一般的な経済情勢を含む当社の事業を取り巻く経済状況、競争圧力及び競争の激化、適用法令、新製品開発計画の成否、規制当局の決定及びそのタイミング、為替相場の変動、製品又は開発品の安全性や有効性に関するクレーム又は懸念、並びに買収対象会社との経営統合等がありますが、これらに限定されるものではなく、またいずれかの要素に起因して、当社の実際の業績や財務状態が、見通し情報により表示又は示唆されている将来の業績や財務状態から大きく乖離する可能性があります。当社及び当社の経営陣は、見通し情報において表示されている予測が現実となることを保証するものではなく、実際の業績は予測と大きく異なる可能性があります。

本資料に含まれる見通し情報は、本資料の日付時点のものに過ぎず、今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社及び当社の経営陣は、本資料に含まれる見通し情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

製品情報に関する注意事項

本資料には、当社の製品情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で販売されているものではありませんし、また国によって商標、効能、用量等が異なる場合もあります。また、本資料に記載されている医療用医薬品（開発品を含む）の情報は、そのような製品を宣伝・広告するものではありません。



2017年度の力強いスタート

- **優先事項の着実な進捗**

- Grow Portfolio (事業ポートフォリオの成長)
- Rebuild Pipeline (研究開発パイプラインの再構築)
- Boost Profitability (利益率の向上)

- **売上と利益の力強いスタート**

- 実質的な売上収益 +6.6%
- 実質的なCore Earnings +29.4%

- **2桁台のEPS成長**

- 実質的なCore EPS +35.7%
- EPS (財務ベース) +45.8%

- **年間見通しに確かな自信**



優先事項の着実な進捗

Grow Portfolio

- 実質的な売上収益は+6.6%、すべての地域で増収
- エンティビオの力強い勢い+45.4%
- 成長ドライバーは+14.7%、連結売上に対する比率は61%

Rebuild Pipeline

- アドセトリスのECHELON-1試験は主要評価項目を達成、標準療法を上回るメリットを確認
- 研究開発体制の変革は順調に進捗
- 革新的なバイオテック企業/アカデミアと10件以上の新たな提携

Boost Profitability

- 実質的なCore Earningsは+29.4%
- 実質的なCore Earningsの対売上収益比率は+350bps
- EPS（財務ベース）+45.8%、実質的なCore EPS +35.7%



売上と利益の力強いスタート、2桁台のEPS成長

- **EPS（財務ベース）+45.8%**

- 売上収益は+3.3%の増収、成長ドライバーが為替影響（△0.4pp）と事業等の売却影響（△2.9pp）を吸収
- 営業利益の+27.5%増益は、力強い実質的な成長が牽引
和光純薬の株式売却益（1,063億円）は、前年同期に日本でテバ社との合併会社に移管した長期収載品の事業譲渡益（1,029億円）と同規模

- **力強い実質的な成長**

- 実質的な売上収益の成長は+6.6%、成長ドライバーの+14.7%が牽引
- 実質的なCore Earningsは+29.4%、対売上収益比率は+350bps、費用の期ずれによる増益影響も寄与
- 実質的なCore EPSは+35.7%、税金費用の期ずれによる税率低下も寄与

- **営業フリー・キャッシュ・フローは+50.3%の555億円、ノン・コア資産の売却により、さらに1,277億円のキャッシュを創出**



財務ベースのEPSは45.8%の伸長 力強い営業増益と株式売却、税率低下を反映

2017年度第1四半期 損益計算書（財務ベース）

(億円)	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	対前年同期	
売上収益	4,340	4,482	+142	+3.3%
Core Earnings	771	1,063	+292	+37.9%
営業利益	1,529	1,950	+420	+27.5%
当期利益	995	1,448	+453	+45.5%
EPS	127円	186円	+58円	+45.8%
ROE	5.3%	7.4%		+2.1pp
円/ドル	112円	111円	△0円	△0.3%
円/ユーロ	126円	121円	△4円	△3.4%



実質的なCore Earningsの対売上収益比率は350bps向上 粗利益率の向上と経費の規律ある管理/期ずれが要因

2017年度第1四半期 損益計算書（実質ベース）

(億円)	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	対前年同期	
売上収益	3,980	4,243	+263	+6.6%
売上総利益	2,784	3,045	+261	+9.4%
対売上収益比率	70.0%	71.8%		+1.8pp
営業経費	△2,133	△2,203	△70	+3.3%
対売上収益比率	△53.6%	△51.9%		+1.7pp
Core Earnings	651	842	+191	+29.4%
対売上収益比率	16.3%	19.8%		+3.5pp
Core当期利益	487	660	+174	+35.7%
Core EPS	62円	85円	+22円	+35.7%



連結売上の61%を占める成長ドライバーが売上収益の力強い成長を牽引

2017年度第1四半期 実質的な売上収益の成長

成長ドライバー

消化器系疾患	+23.2%
オンコロジー	+12.2%
中枢神経系疾患	+29.8%
新興国事業	+6.0%
合計	+14.7%

タケダ連結売上の成長ドライバー比率61%



収益力向上を牽引する主力製品

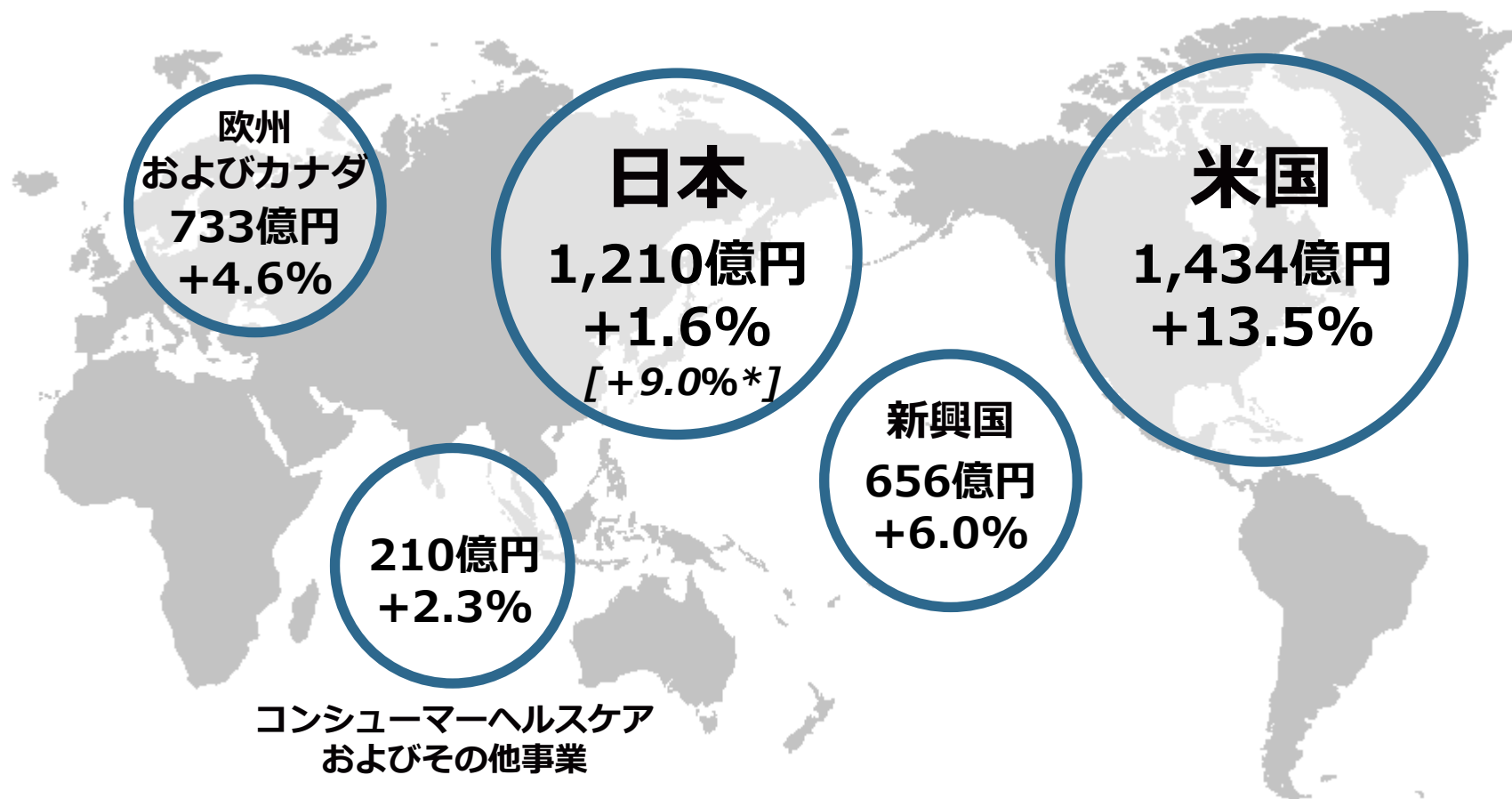
2017年度第1四半期 実質的な売上収益

		第1四半期	対前年同期
GI		455億円	+45.4%
		125億円	+95.7%
Oncology		99億円	+67.6%
		93億円	+22.0%
		2億円	N/A (2017年5月販売開始)
CNS		111億円	+74.8%










全ての地域で実質的な売上収益が成長

2017年度第1四半期 実質的な売上収益: 4,243億円、+6.6%





2017年度の重要な研究開発マイルストーン

疾患領域	開発品	予定されるイベント	
オンコロジー (がん)	Ninlaro	初発の多発性骨髄腫 無増悪生存期間 (PFS) データ解析結果 (H2) 再発・難治性の多発性骨髄腫 全生存期間 (OS) データ解析結果(H2)	
	Adcetris	再発性皮膚T細胞性リンパ腫 欧州申請 (H1) ホジキンリンパ腫 (フロントライン適応) ピボタルP-3試験結果 (ECHELON-1) (2017暦年内)	 
	Alunbrig	非小細胞肺癌 米国承認 (H1)	
	Pevonedistat	高リスク骨髄異形成症候群/慢性骨髄単球性白血病/低ブラスト急性骨髄性白血病 P-2 中間解析結果 (H1) 高リスク骨髄異形成症候群/慢性骨髄単球性白血病/低ブラスト急性骨髄性白血病 ピボタル P-3試験開始 (H2)	
消化器系疾患	Entyvio	潰瘍性大腸炎 日本P-3試験の結果判明 (H2)	
	Cx-601	クローン病に伴う肛門複雑瘻孔 欧州承認 (2017暦年内)	
	TAK-954	経腸栄養不耐性 P-2b試験開始 (H2)	
中枢神経系疾患	Trintellix	認知機能のラベルについてFDAとの対話を継続	 2017年6月 CRL受領
	Rasagiline	パーキンソン病 日本申請 (H1)	
ワクチン	TAK-003	デングウイルスワクチン P-3「TIDES試験」の被験者組み入れ完了 (H1)	
	TAK-214	ノロウイルスワクチン 成人を対象としたP- 2b試験の結果判明 (H2)	
	TAK-426	ジカ熱ワクチンのP-1開始 (H2)	

表中の研究開発マイルストーンは一部であり、包括的なものではありません。タイムラインは現在想定しているものであり、変更の可能性があります。



グローバル経費削減イニシアチブは順調に進行中

- 新たなプロキュアメントポリシー（購買方針）の全社展開
- 第1四半期の削減額は50億円(対前年同期+30%)

Pay less
(購買価格
低減)

Buy less
(消費量
削減)

**Work
Better**
(組織最適化)

- 11のコストパッケージの目標設定が完了
- 各方針を全社展開中
 - 旅費
 - 社内イベント
 - コンサルティング
 - 業務委託

- タケダビジネスサービスのグローバルヘッドが就任



営業フリー・キャッシュ・フローは+50.3%増加

2017年度第1四半期 キャッシュフロー計算書

(億円)	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	対前年同期	
当期利益	1,003	1,450	+446	+44.5%
減価償却費、償却費及び減損損失	438	460	+22	
運転資本増減（△は増加）	△ 396	△ 412	△16	
法人税等の支払額	△ 49	△ 123	△74	
その他	△ 489	△ 629	△140	
営業活動によるキャッシュ・フロー	508	746	+238	+46.9%
有形固定資産の取得と売却*	△ 114	△ 140	△26	
無形資産の取得**	△ 24	△ 50	△26	
営業フリー・キャッシュ・フロー	369	555	+186	+50.3%

- ノン・コア資産の売却により、さらに1,277億円のキャッシュを創出
- 純有利子負債/EBITDA倍率は2016年度末の2.7倍から2.1倍に低下



その他のゴール/トピック

<u>ゴール</u>	<u>目標</u>	<u>進捗状況</u>
• 実質的なCEの対売上収益比率	+100-200bps	+350bps
• 不動産の売却	600億円*	319億円
• 投資有価証券の売却	700億円*	113億円

トピック

- ベルケイドの'446特許にかかる控訴審の有利な判決、オンコロジーの見通しを評価中
- アリアド社買収の資金調達を完了：35億米ドル、年限8.8年、平均利率0.8%
- アリアド社の統合は順調、業績は想定を上回る



第1四半期の力強い実績により年間見通しに確かな自信

	2017年度 マネジメントガイダンス (成長率 %)	2017年度 第1四半期実績 (成長率 %)
実質的な売上収益	1桁台前半	+6.6%
実質的なCore Earnings	10%台半ばから後半	+29.4%
実質的なCore EPS	10%台前半から半ば	+35.7%

- 第1四半期は期ずれによるプラス影響も含む
- 年間見込の税率は27%に対して第1四半期は21%



第1四半期の力強い実績により年間見通しに確かな自信

ガイダンス (実質ベース)	売上収益	1桁台前半
	Core Earnings	10%台半ばから後半
	Core EPS	10%台前半から半ば

(億円)			対前年
公表予想 (財務ベース)	売上収益	16,800	△3.0%
	営業利益	1,800	+15.5%
	EPS	177円	+20.1%



Appendix

開発初期パイプラインへの多大な投資と 既発売製品の価値最大化



	Phase 1	Phase 2	Phase 3/Filed	LCM
Oncology	<p>TAK-202 CCR2 antagonist Solid Tumors</p> <p>TAK-243 UAE inhibitor Solid Tumors</p> <p>TAK-659 SYK inhibitor Hematologic malignancies</p> <p>TAK-580 pan-RAF kinase Solid Tumors</p> <p>TAK-931 CDC7 inhibitor Solid Tumors</p> <p>TAK-788 (AP32788) EGFR/HER2 inh NSCLC</p> <p>XMT-1522 Mersana Therapeutics HER2 dolaflexin ADC HER2 positive solid tumors</p>	<p>pevonedistat NAE inhibitor HR MDS</p> <p>sapanisertib (TAK-228) mTORC 1/2 inhibitor RCC, Breast, Endometrial</p>		<p>NINLARO® Proteasome inhibitor MM R/R (EM), R/R AL Amyloidosis, Front Line MM Maintenance MM post-SCT Maintenance MM w/o SCT</p> <p>ADCETRIS® Seattle Genetics CD30 ADC FL HL, FL MTCL, Relapsed CTCL</p> <p>ALUNBRIG® (Brigatinib) ALK inhibitor ALK+NSCLC (EU), FL ALK+ NSCLC</p> <p>ICLUSIG® BCR-ABL inhibitor Imatinib resistant Chronic Phase CML Second-Line Chronic Phase CML, Ph+ ALL</p> <p>Cabozantinib Exelixis VEGFR/RTK inhibitor Solid Tumors (JP)</p>
GI	<p>TAK-954 Theravance Biopharma 5-HT4R ag Enteral Feeding Intolerance</p> <p>TAK-906 D2/D3 Receptor Antagonist Gastroparesis</p>		<p>CX601 TiGenix mesenchymal stem cells Perianal Fistulas in CD (EU)</p>	<p>ENTYVIO® g487 mAb UC/CD (EM), UC (JP), CD (JP), adalimumab H2H Sub-Q UC, Sub-Q CD, GvHD Prophylaxis, GvHD SR, IO, Colitis</p> <p>Vonoprazan PCAB ARD (Asia), NERD (JP) PPI Partial Responder</p> <p>AMITIZA® Sucampo Chloride channel activator Pediatric constipation New formulation</p>
CNS	<p>TAK-041 GPR139 agonist CIAS neg. symptoms</p> <p>TAK-058 5-HT3 antagonist CIAS</p> <p>TAK-071 M1PAM LBD-AD</p> <p>TAK-653 AMPA potentiator TRD</p> <p>TAK-831 DAAO inhibitor Schizophrenia, Ataxia</p> <p>TAK-935 Ovid Therapeutics CH24H inhibitor Epilepsy</p>		<p>AD-4833 TOMM40 Zinfandel Pharmaceutical Mitochondrial growth modulator Delay of MCI</p>	<p>TRINTELLIX™ Lundbeck Multimodal anti-depressant Cognition data in label (CRL received) MDD (JP), ADHD</p> <p>Rasagiline Teva MAOB inhibitor Parkinson's (JP)</p>
Vaccines	<p>TAK-021 EV71 Vaccine</p> <p>TAK-195 Gates Foundation Inactivated Polio Vaccine</p>	<p>TAK-214 Norovirus Vaccine</p>	<p>TAK-003 Dengue Vaccine</p>	
Other	<p>TAK-079 Anti-CD38 mAb SLE</p> <p>TAK-020 BTK inhibitor RA</p>	<p>namilumab Amgen GM-CSF RA</p> <p>TAK-272 SCOHIA Pharma Direct renin inhibitor Diabetic Nephropathy</p>	<p>relugolix Myovant GNRH antagonist Uterine Fibroids (JP), Endometriosis, Prostate Cancer (JP)</p>	



Coreと「実質的な成長」の定義

Coreの概念

Core Earningsは、売上総利益から、販売費及び一般管理費、および、研究開発費を控除して算出します。さらに、non-coreの性質で金額の大きい影響を調整します。ここには、自然災害の影響、企業買収に係る会計処理の影響、主な訴訟費用、事業構造再編費用、政府による法令変更の影響などが含まれます。説明責任及び信頼性を保証するため、これらを控除する際の金額基準は「10億円以上」と高く設定しています。

Core EPSの算出にあたっては、Core Earningsから、営業利益以下の各科目のうち、non-coreの性質で金額の大きい影響（10億円以上）を調整します。ここには、条件付対価に係る公正価値変動影響などが含まれます。さらに、これらにかかる税金影響に加え、上記のCore Earnings調整にかかる税金影響を合わせて調整します。

実質的な成長

実質的な成長とは、持続的な事業活動のパフォーマンスを実質的に把握する目的で、当期と前年同期（四半期あるいは年間）の業績を共通の基準で比較するものです。このため、各期間を共通の為替レートで換算し、また、事業等の売却影響を調整します。

共通の為替レート：グローバルに事業を展開している当社の業績は、様々な通貨の為替レート変動による影響を受けます。従って、異なる期間の業績比較は、換算に使用する為替レートの違いにより歪みが生じることがあります。このため、為替変動による影響を排除して業績の比較を容易にし、実質的な成長を把握するため、共通の為替レート（CER: Constant Exchange Rates）を異なる期間それぞれに適用します。これには通常、当期の計画レートを使用します。



損益計算書（財務ベース） 2017年度第1四半期

(億円)	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	対前年同期	
売上収益	4,340	4,482	+142	+ 3.3%
売上総利益	2,986	3,274	+288	+ 9.6%
対売上収益比率	68.8%	73.0%		+4.2pp
販売費及び一般管理費	△1,450	△1,459	△9	+ 0.6%
研究開発費	△765	△757	+9	△ 1.1%
非定常項目	-	5	+5	NA
Core Earnings	771	1,063	+292	+ 37.9%
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	△285	△325	△40	+ 13.9%
その他の営業収益/費用	1,043	1,216	+173	+ 16.6%
非定常項目（振り戻し）	-	△5		
営業利益	1,529	1,950	+420	+ 27.5%
対売上収益比率	35.2%	43.5%		+8.3pp
金融収益/費用	△29	35	+64	NA
持分法による投資損益	△4	△3	+1	△ 25.8%
税引前当期利益	1,497	1,982	+486	+ 32.4%
法人所得税費用	△493	△533	△39	+ 7.9%
非支配持分	△8	△2	+6	△ 75.5%
当期利益	995	1,448	+453	+ 45.5%
EPS	127 円	186 円	+58 円	+ 45.8%
Core EPS	71 円	103 円	+32 円	+ 44.5%

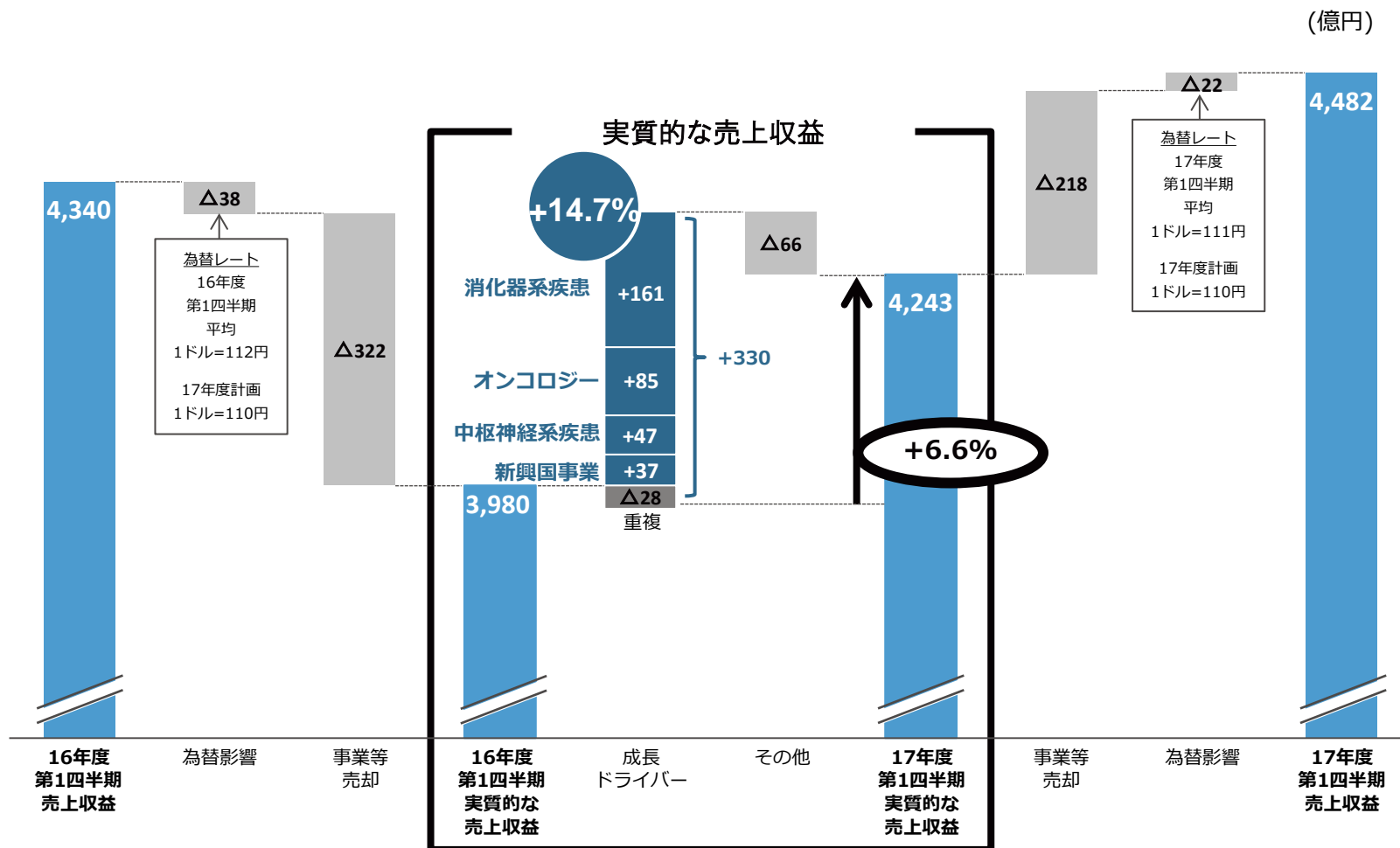


損益計算書（実質ベース） 2017年度第1四半期

(億円)	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	対前年同期	
実質的な売上収益	3,980	4,243	+263	+ 6.6%
実質的な売上総利益	2,784	3,045	+261	+ 9.4%
対売上収益比率	70.0%	71.8%		+1.8pp
販売費及び一般管理費	△1,394	△1,452	△58	+ 4.1%
研究開発費	△739	△751	△12	+ 1.7%
実質的なCore Earnings	651	842	+191	+ 29.4%
対売上収益比率	16.3%	19.8%		+3.5pp
金融収益/費用	△6	△9	△3	+ 57.8%
持分法による投資損益	31	8	△23	△ 74.7%
実質的なCore税引前当期利益	676	841	+164	+ 24.3%
法人所得税費用	△187	△178	+8	△ 4.5%
非支配持分	△3	△2	+1	△ 24.6%
実質的なCore当期利益	487	660	+174	+ 35.7%
実質的なCore EPS	62 円	85 円	+22 円	+ 35.7%



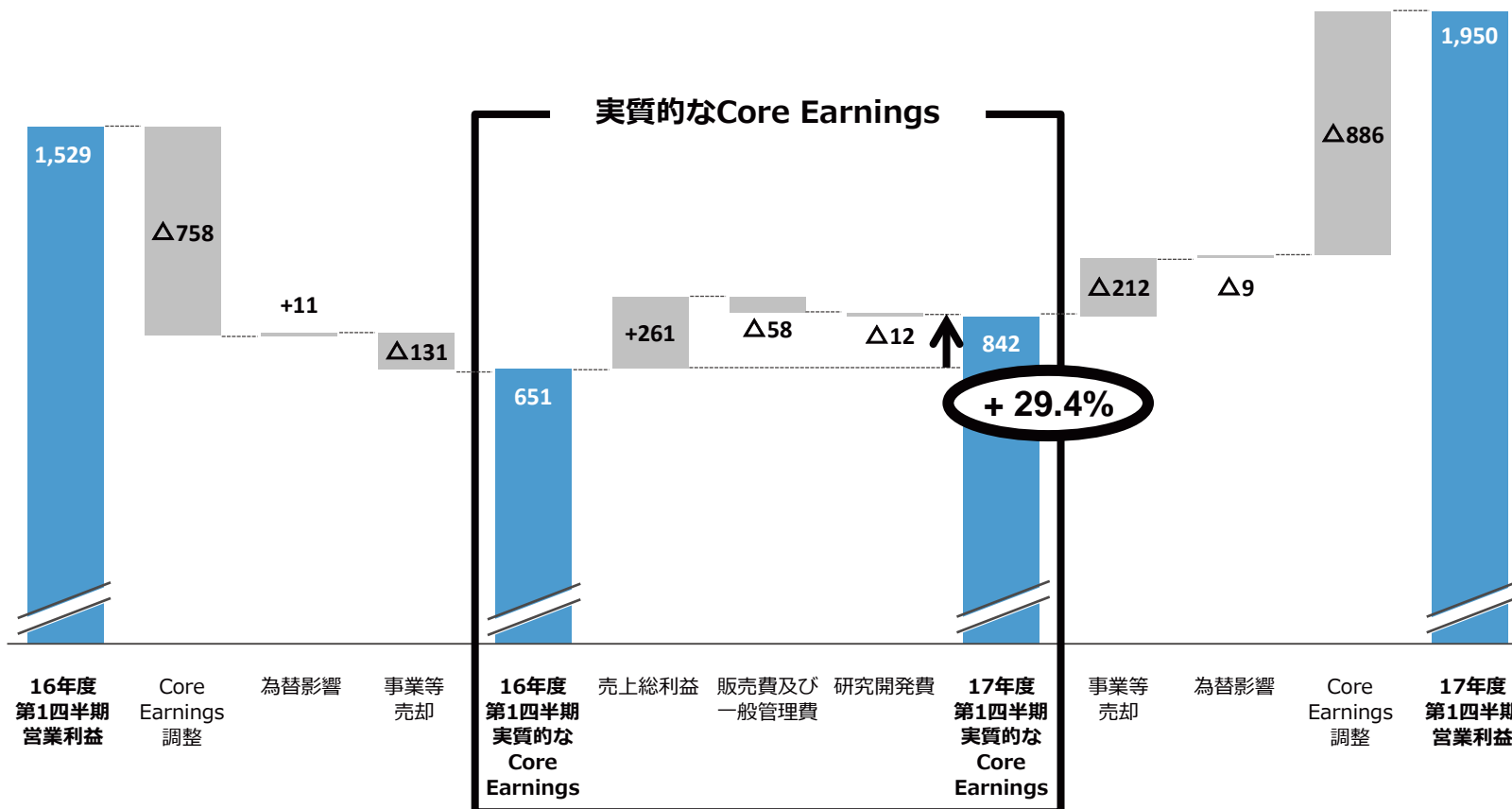
実質的な売上収益は成長ドライバーが牽引し+6.6%の成長





実質的なCore Earningsは+29.4%の増益 量ベースの伸びと製品構成、規律ある経費管理が貢献

(億円)

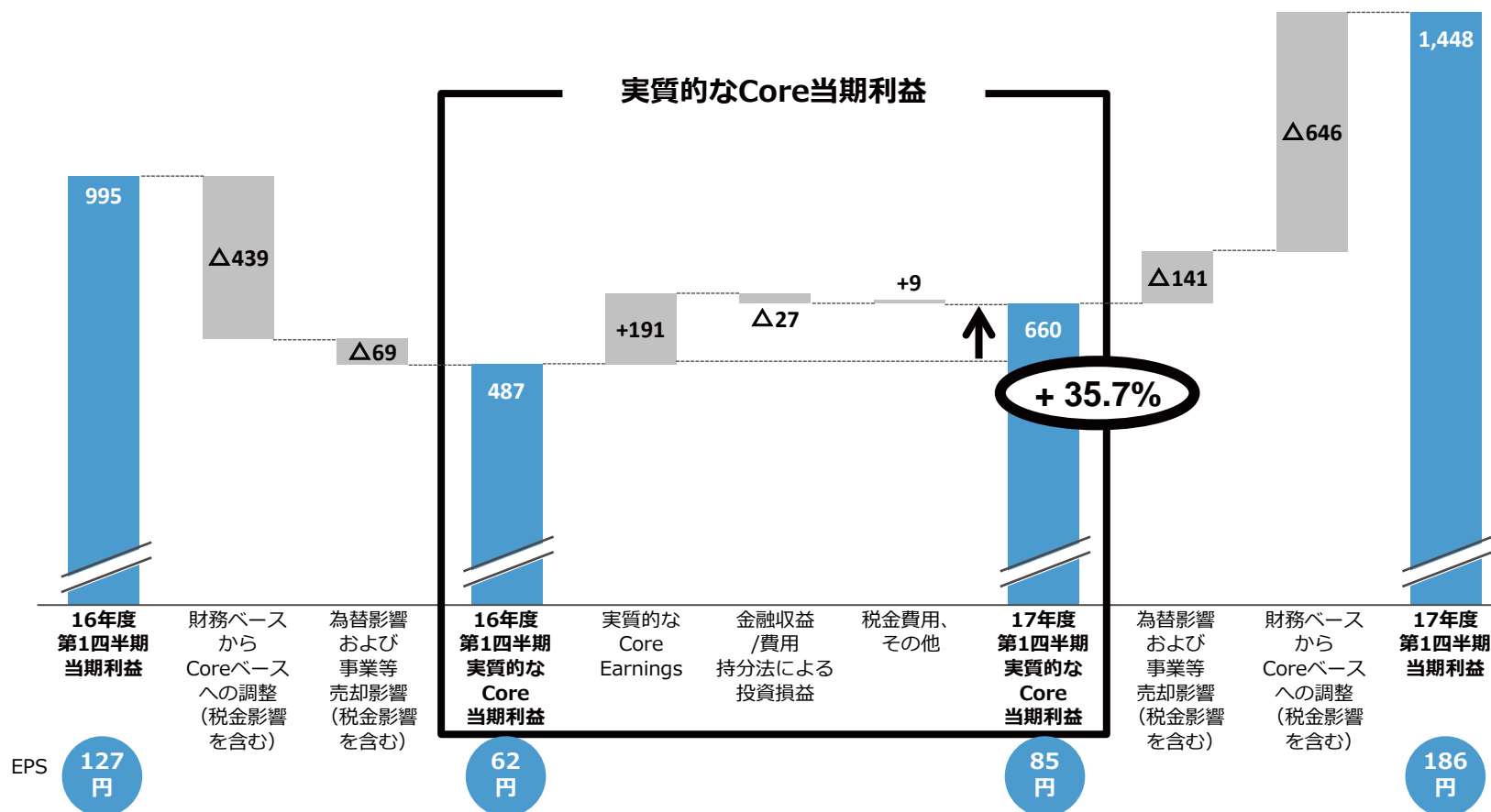




実質的なCore当期利益とEPSは+35.7%

Core Earnings の増益と税率が貢献

(億円)





財務ベース売上収益から実質的な売上収益への調整

(億円)	2016年度	2017年度	対前年同期	
	第1四半期	第1四半期		
売上収益	4,340	4,482	+142	+ 3.3%
為替影響*	△38	△22		+0.4pp
為替影響*除き売上収益	4,302	4,461	+159	+ 3.7%
事業等の売却影響**	△322	△218		+2.9pp
和光純薬	△190	-		
テバJVへの長期収載品売却	△75	△183		
その他	△57	△35		
実質的な売上収益	3,980	4,243	+263	+ 6.6%

* 為替影響は、前期および当期に、17年度の計画レート (1ドル=110円, 1ユーロ=120円)を適用して算出しています。

** 事業等の売却影響の前期には、主に和光純薬の前期の売上収益と2017年5月にテバ社との合併会社から売却した長期収載品にかかる前期の売上を含めています。
また、当期には、主に当該長期収載品にかかる当期の一時的な売却益などを含めています。

(注) 財務ベースからCoreベース、Coreベースから実質ベースへの調整については、ウェブサイト掲載のエクセル調整表をご参照ください。



営業利益から実質的なCore Earningsへの調整

(億円)	2016年度	2017年度	対前年同期	
	第1四半期	第1四半期		
営業利益	1,529	1,950	+420	+ 27.5%
無形資産の償却費および減損損失	285	325	+40	
その他の営業収益/費用	△1,043	△1,216	△173	
非定常項目	-	5	+5	
Core Earnings	771	1,063	+292	+ 37.9%
為替影響*	11	△9	△20	
事業等の売却影響**	△131	△212	△81	
和光純薬	△21	-	+21	
テバJVへの長期収載品売却	△72	△178	△106	
その他	△38	△35	+3	
実質的な Core Earnings	651	842	+191	+ 29.4%

* 為替影響は、前期および当期に、17年度の計画レート (1ドル=110円, 1ユーロ=120円)を適用して算出しています。

** 事業等の売却影響の前期には、主に和光純薬の前期の営業利益と2017年5月にテバ社との合併会社にかつ売却した長期収載品にかかる前期の利益を含めています。
また、当期には、主に当該長期収載品にかかる当期の一時的な売却益などを含めています。

(注) 財務ベースからCoreベース、Coreベースから実質ベースへの調整については、ウェブサイト掲載のエクセル調整表をご参照ください。



当期利益から実質的なCore当期利益への調整

(億円)	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	対前年同期	
当期利益	995	1,448	+453	+ 45.5%
EPS	127 円	186 円	+58 円	+ 45.8%
無形資産の償却費および減損損失	196	219	+24	
その他の営業収益/費用	△683	△836	△153	
投資有価証券の売却益	△0	△56	△56	
その他の非定常項目の調整	48	26	△22	
Core当期利益	556	801	+245	+ 44.2%
Core EPS	71 円	103 円	+32 円	+ 44.5%
為替影響*	17	6	△11	
事業等の売却影響**	△87	△147	△61	
実質的なCore当期利益	487	660	+174	+ 35.7%
実質的なCore EPS	62 円	85 円	+22 円	+ 35.7%

* 為替影響は、前期および当期に、17年度の計画レート (1ドル=110円, 1ユーロ=120円)を適用して算出しています。

** 事業等の売却影響の前期には、主に和光純薬の前期の当期利益と2017年5月にテバ社との合併会社にかつ売却した長期収載品にかかる前期の利益を含めています。

また、当期には、主に当該長期収載品にかかる当期の一時的な売却益などを含めています。

(注) 財務ベースからCoreベース、Coreベースから実質ベースへの調整については、ウェブサイト掲載のエクセル調整表をご参照ください。



純有利子負債/EBITDA倍率は2.1倍に低下 ノン・コア資産の売却は1,277億円のキャッシュを創出

2017年度第1四半期 キャッシュ関連

(億円)	2016年度 第1四半期	2016年度 第4四半期	2017年度 第1四半期	
営業フリー・キャッシュ・フロー			555	
不動産の売却			319	} 1,277
和光純薬株式売却			845	
その他投資有価証券売却			113	
配当金/その他			△ 703	
現金の増減額 (△は減少)			1,128	
有利子負債	△ 9,196	△ 11,449	△ 11,448	
純有利子負債	△ 2,818	△ 8,243	△ 7,114	
有利子負債/EBITDA倍率	2.6 x	3.7 x	3.5 x	
純有利子負債/EBITDA倍率	0.8 x	2.7 x	2.1 x	



公表予想は据え置き 2017年度の財務ベースEPSは20%伸長の177円

2017年度公表予想（財務ベース）（2017年5月10日公表）

（億円）	2016年度	2017年度	対前年	
売上収益	17,321	16,800	△521	△3.0%
研究開発費	△3,123	△3,100	+23	△0.7%
Core Earnings	2,451	2,575	+124	+5.0%
無形資産償却費および減損損失	△1,567	△1,525	+42	△2.7%
その他の営業収益／費用*	675	750	+75	NA
営業利益	1,559	1,800	+241	+15.5%
税引前当期利益	1,433	1,900	+467	+32.5%
当期利益	1,149	1,380	+231	+20.1%
EPS	147 円	177 円	+30 円	+20.1%
円/ドル	109 円	110 円	+1 円	+0.9%
円/ユーロ	120 円	120 円	+1 円	+0.4%

2017年度公表予想の前提条件（億円）

製品等に係る無形資産償却費および減損損失

- 無形資産償却費 △1,200
- 減損損失 △325

その他の営業収益／費用

- 和光純薬の株式売却益 1,060
- 不動産売却益 160
- 長期収載品の事業譲渡益 60
- グローバル経費削減イニシアチブ／その他 △300
- 研究開発体制の変革にかかる導入費用* △180
- *合計の予算額は△580億円に
- アリアド社にかかる一時費用 △50

金融収益

- 投資有価証券の売却益 300

* 非定常項目を含む



第1四半期と第2～4四半期の業績影響要因

- **第1四半期に一時的な収益のほぼすべてを計上**

- テバ社との合併会社への追加的な長期収載品の売却
- 和光純薬株式の売却
- 不動産の売却

1,368 億円

- **第2～4四半期予算に、大規模な費用発生を見込む**

- グローバル経費削減イニシアチブとその他の事業構造再編費用
- 研究開発体制の変革にかかる導入費用も第2～4四半期に集中
- 製品等にかかる減損損失の予算枠は全額が第2～4四半期に繰り越し

△790億円

- **当社第4四半期は通常、最も利益が低い四半期**

- 2017年11月にベルケイドの独占期間満了となれば、この傾向が顕著となる



2017年度実質的な成長ガイダンスの2016年度ベースライン

(億円)	2016年度
売上収益	17,321
為替影響*	+194
事業等の売却影響 – 和光純薬の連結除外影響	△791
事業等の売却影響 – テバJVへの追加LLP売却の減収影響	△242
事業等の売却影響 – その他	△260
実質的な売上収益	16,221
営業利益	1,559
無形資産償却費および減損損失	+1,567
その他の営業収益	△1,435
その他の営業費用	+729
非正常項目	+32
Core Earnings	2,451
為替影響*	+53
事業等の売却影響 – 和光純薬、テバJV等	△460
実質的なCore Earnings	2,044
対売上収益比率	12.6%
実質的なCore税率	26.0%
実質的なCore EPS (円)	192

* 同一為替レート（17年度計画レートの1ドル=110円、1ユーロ=120円等）を適用し影響額を算出しています。

(注) 現時点の前提に基づいています。2017年度の発生事実によっては、16年度ベースラインを再計算する可能性があります。

Better Health, Brighter Future



武田薬品工業株式会社